

～郷里への熱き心～

山口嘉七先生



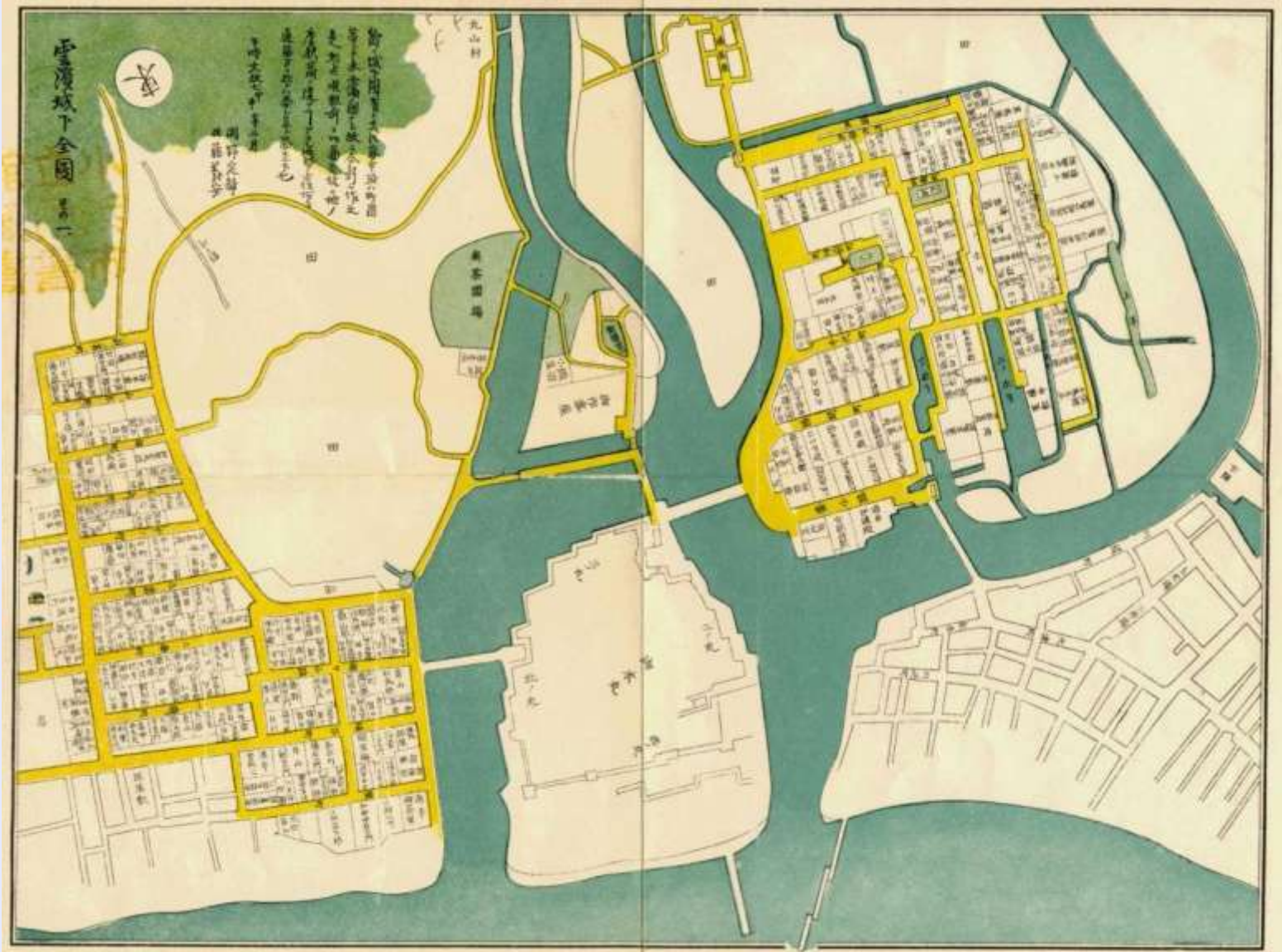
平成21年11月28日(土)

雲浜公民館

山口嘉七先生

- ◆ 安政4年(1857)小浜市上竹原にて生まれる
- ◆ 明治9年(1876)大津・京阪地方で法律を学ぶ
- ◆ 明治12年 京都地裁で代言人試験合格
- ◆ 明治26年 福井地裁で弁護士登録
- ◆ 明治28年 小浜町会・遠敷郡会議員
- ◆ 明治30年 福井県議会議員
- ◆ 大正4年(1915)衆議院議員
- ◆ 大正5年 小浜商工会頭
- ◆ 昭和7年(1932)死去 75歳

先生が生まれたころの小浜



小浜線の開通へ向け

- ◆ 明治28年(1895)小浜鉄道株式会社
敦賀－舞鶴 小浜－今津
- ◆ 明治30年(1897)全線認可の仮免許
⇒明治33年(1900)仮免許状返納
- ◆ 明治35年(1902)法律32号
敦賀－新舞鶴－余部
- ◆ 大正4年(1915)本格工事開始
敦賀－十村(大正6年)、十村－小浜(大正7年)
小浜－高浜(大正10年)、高浜－新舞鶴(大正11年)

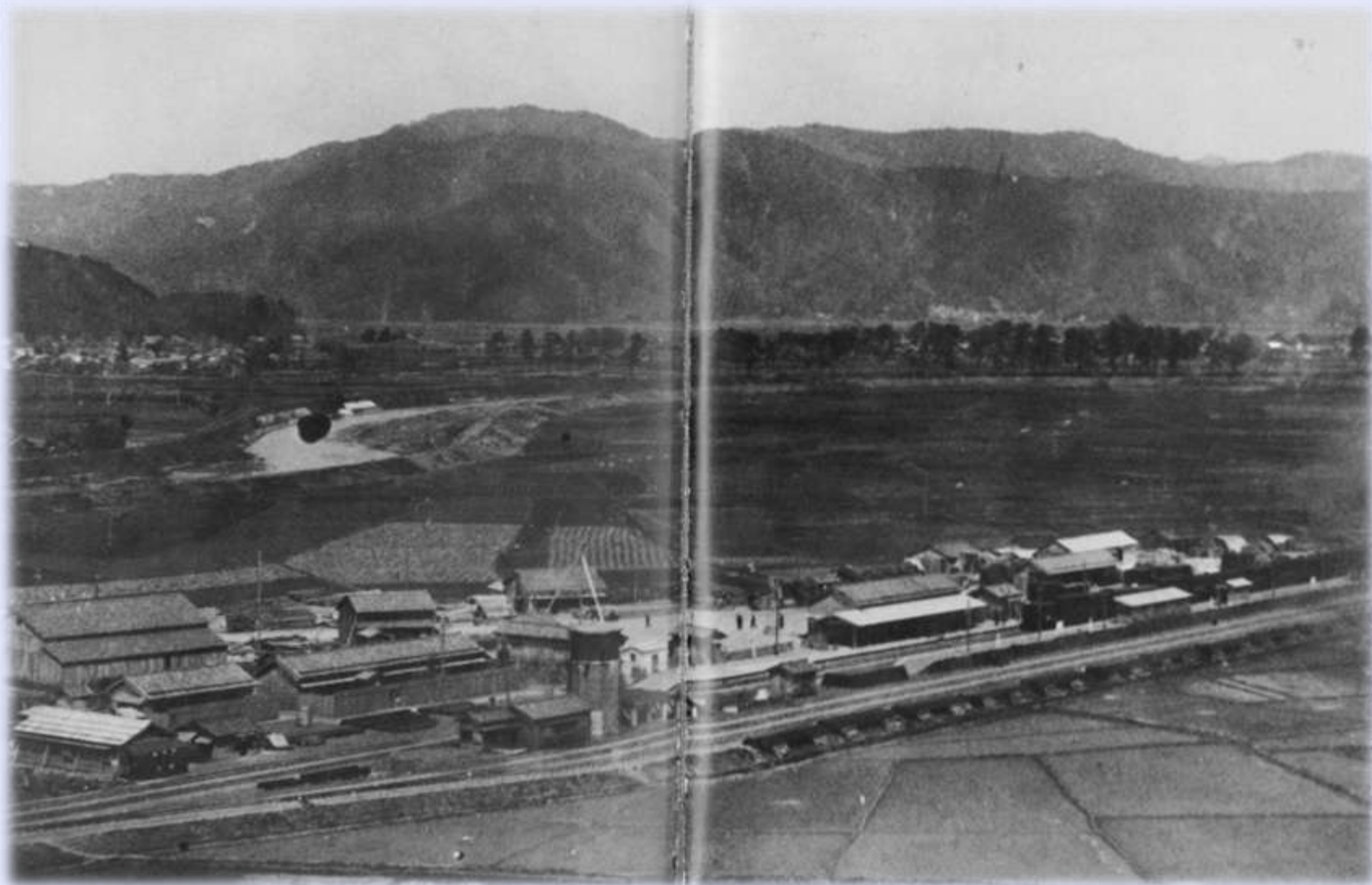
鐵道遺產



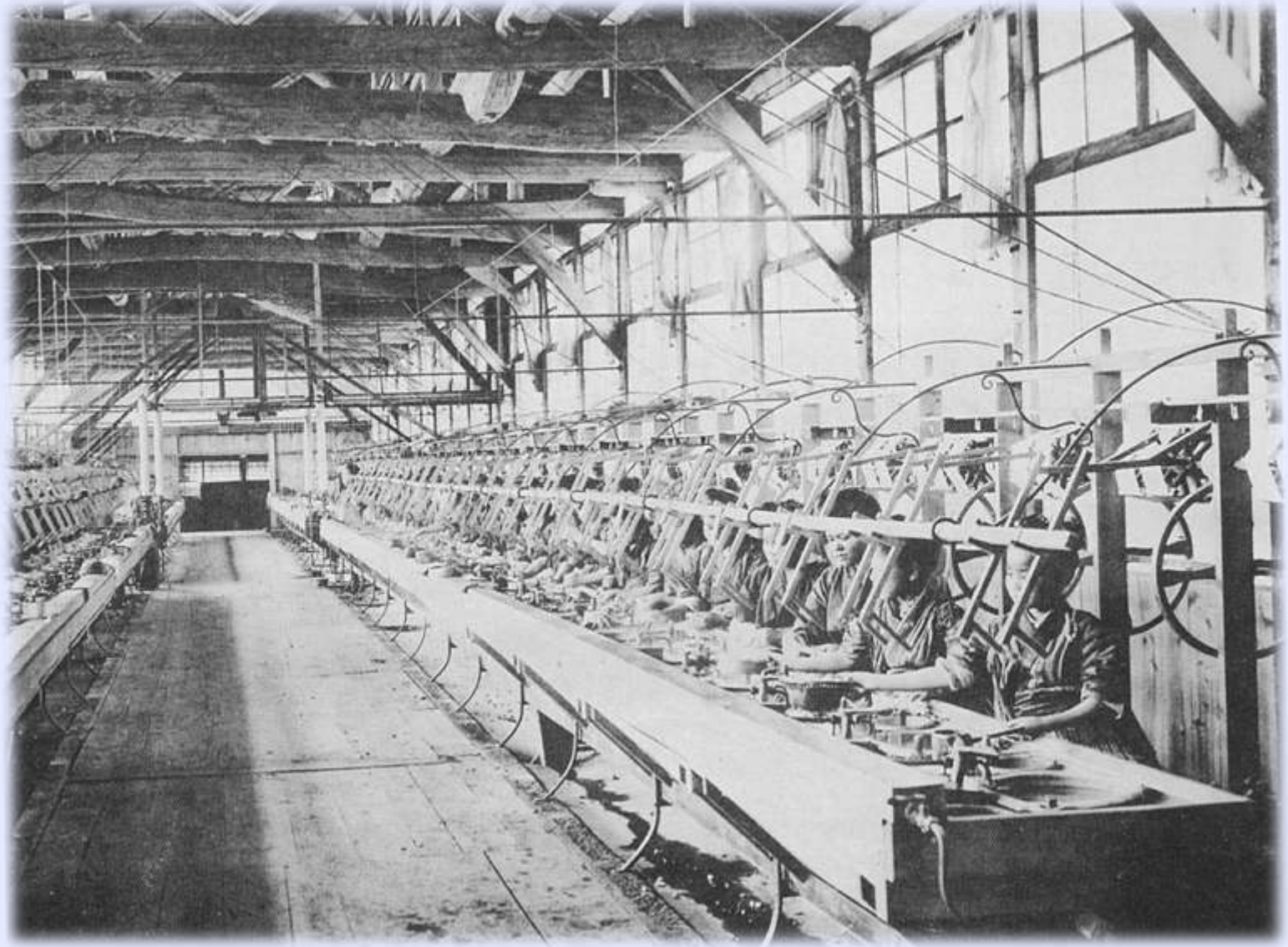
建設促進と山口嘉七先生

- ◆ 大正4年 代議士当選後当初から敦鶴鉄道速成建議案提出。委員長として政府へ働きかける。
- ◆ 単なる地域の足だけでなく・・・
 - (1) 海と陸を結び付ける
 - (2) 小浜特有の産業を興す

大正7年 開通当初頃の小浜駅



雲浜蚕糸株式会社



大正4年頃の小浜港



小浜線開通後の町政発展策

◆ 消費駅 × 殖産駅 ○

店舗の改良をして物産陳列場

広告を利用・旅館の改良・土産や特産品の改良

漁労の改良と漁獲増進・水産製造物の改良

市場開設・金融機関の完備・小資本の合併

小浜案内の編纂・殖産興業の向上・海岸道路

ごみ焼却場・海水浴場・名所旧跡の保存修理

港湾設備の完備・近若鉄道敷設で京阪神と

北川・南川の改修

- ◆ 大正6年(1917)南北両川改修期成同盟会
- ◆ 大正10年(1921)第二期河川改修計画認定
- ◆ 大正14年(1925)請願書の提出⇒建議可決
- ◆ 大正15年(1926)北川改修予算が両院通過
- ◆ 昭和16年(1941)竣工

当初工期 9か年計画

⇒ 最終的に16か年工事

地方民の熱望達成し、いよいよ工事に着手

若越新聞 昭和2年4月27日

地方民が多年熱望せる南北両川の改修も、山口代議士その他関係地方有志の熱望により……山口嘉七氏を陣頭にたて……憲政幹部及び要職の大官に迫り、殊に山口氏の如きは、十年の苦節を共にし来た我が党内閣の諸公が此の位の希望を容れぬならば、断じて脱党すべしとまで強硬の態度を示し、諾が否かその確答を聞くまでは動かぬと、内相や蔵相の面前に腰を控えたため……

大正12年小浜市街図



亀の甲

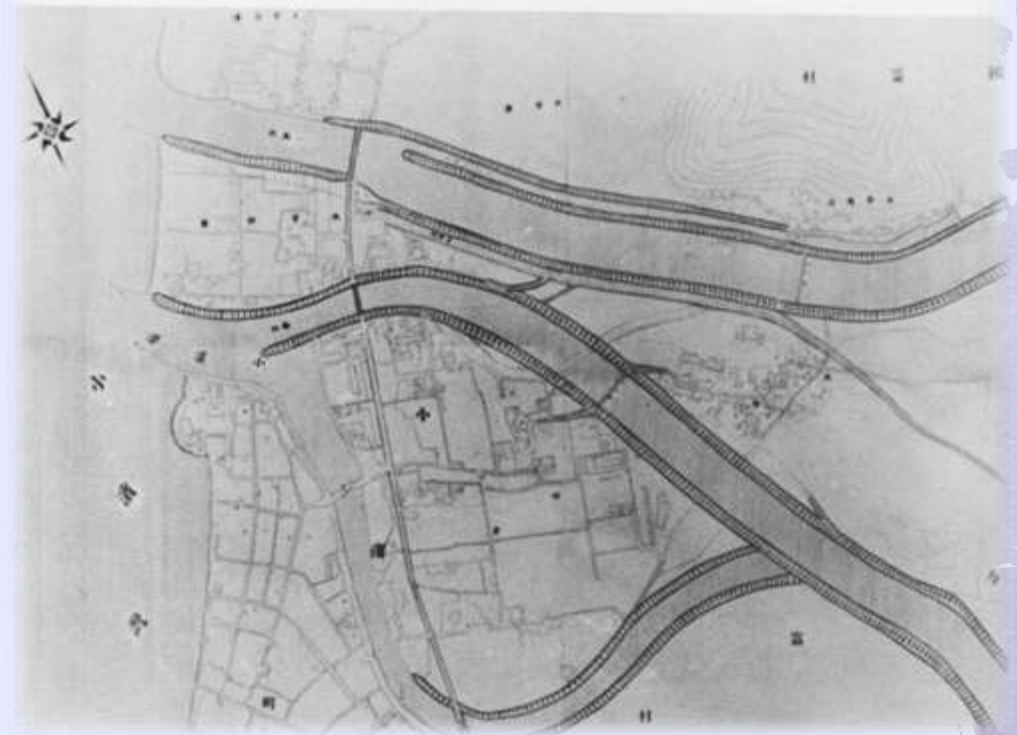


北川改修工事図

堤防築造

江古川と北川の流路変更

南川の流路変更

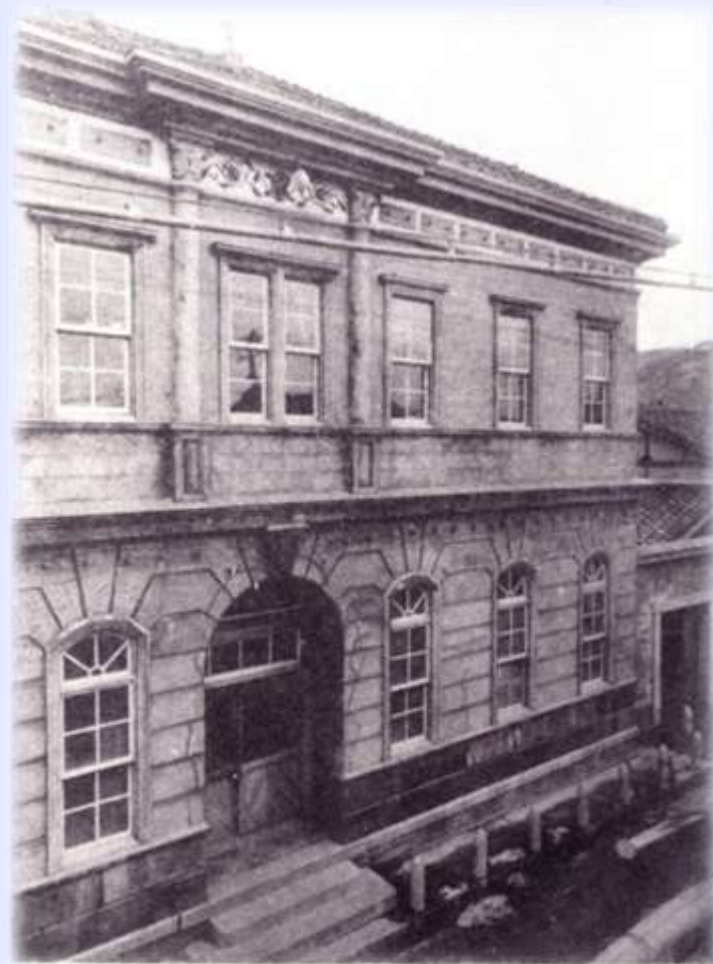


産業の振興

- ◆ 小浜同盟会 ⇒ 小浜町実業会
- ◆ 小浜商工会頭
- ◆ 若狭商業銀行 取締役
- ◆ 小浜電燈株式会社 監査役
- ◆ 若狭電気株式会社 社長
- ◆ 江若鉄道株式会社創立 取締役

若狭電気株式会社

若狭電気株式会社販賣部
福井縣小濱町玉前



若狭電気株式会社
福井縣小濱町電話七番

若狭電気小浜発電所 下根来水力発電所



教育の振興

- ◆ 私立稚桜女学校の設立(1905)
西津の元蚕種検査所
- ◆ 翌年、小浜町・雲浜村・西津村組合立
小浜女子技芸学校へ(雲浜村琢成小学校跡)
- ◆ 郡立へ移管(1910)
- ◆ 郡立実科高等女学校(1919)
- ◆ 高等女学校(1921)
- ◆ 県立高等女学校(1923)
- ◆ 高等水産学校(水産大学)の設置建議

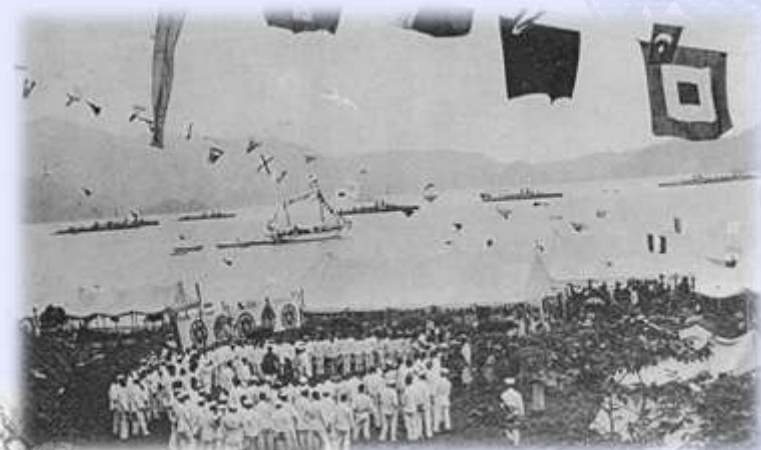
小浜女子技艺学校



小浜公園の創設

- ◆ 小浜公園・・・大正天皇即位記念事業
- ◆ 当時は日露戦争後の不況
寄付の要請・多額の公費
- ◆ 大正3年(1914)開園式
- ◆ 大正6年まで整備および経営費寄付
寄付者657名 寄付金19,127円

小浜公園開園式



顕彰碑

- ◆ 昭和56年(50回忌) 小浜公園

